

札幌市全体の
19年度予算

1兆5,534億円

19年度 一般会計予算は 7,756億円

(前年度比1.1%減)

今回の予算は「骨格予算」

平成19年度の当初予算は、4月に市議会議員および市長の選挙があるため、継続的な事業に掛かる経費や義務的な経費を中心とした予算(骨格予算)となっています。政策的判断を要する事業については、新市長の下であらためて予算編成されます。

一般会計 7,756億円

福祉や教育、ごみの収集など行政の基礎となる事業の会計

特別会計 4,797億円

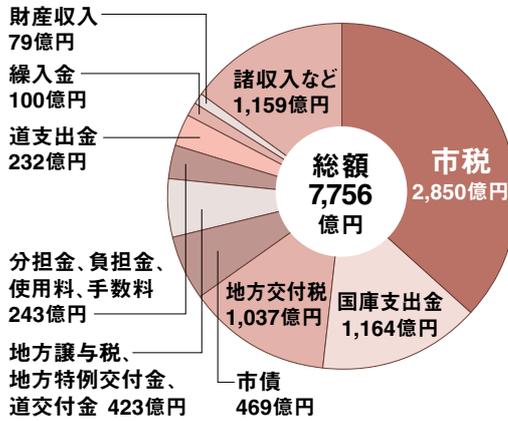
国民健康保険料など、特定の収入があり、一般会計と分けて、収支をはっきりさせるもの

企業会計 2,982億円

地下鉄や病院など、民間企業と同じように事業の収入で賄われるもの

一般会計予算の概要

歳入



市民1人当たりのサービスに掛かる経費

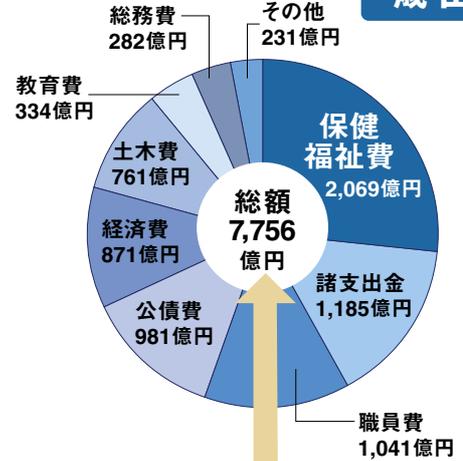
41万円/年※

- 福祉・保健・医療など(12万1千円)
- 道路・公園の整備など(6万7千円)
- 下水道・地下鉄などへの繰り出し(6万3千円)
- 産業振興・観光・農務など(4万8千円)
- 学校教育(3万3千円)
- 総務・芸術文化・スポーツなど(3万2千円)
- ごみ処理・環境保全(1万5千円)
- 消防(1万1千円)
- その他(2万1千円)

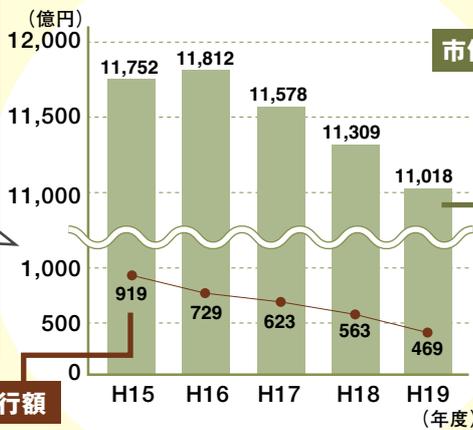
※19年度予算額を人口1,890,729人(1月1日現在)で除して算出。金額は千円未満を四捨五入しており、各項目の合計と総額が一致しない場合があります。各経費には、関連する事業費のほか、職員費、公債費を含みます

※金額は億円未満を四捨五入しており、各項目の合計と総額が一致しない場合があります

歳出



札幌は生活に必要な道路など施設の整備がすでに進んでおり、近年は市債の発行を抑え、残高も減らしてきています



市債発行額

市債は、主に長期間使用する施設などを建設する際に発行し、家計でいえば住宅ローンに近いものです

歳入のところに「市債」というのは、いわば市の借金に当たります

19年度の市民1人当たりの一般会計の市債の残高
58万3千円

うむ、厳しいときだけに、市の借金やお金の使い方についてわしら市民も考えていかなきゃな!



札幌の財政の特徴

歳入 国の影響を受けやすい

歳入は、地方交付税など、国などから配分されるお金の割合が大きく、地方交付税の額は全市町村の中で最も多くなっています。そのため、国などから来るお金が減ると、市の財政は大きな影響を受けてしまうのです。

歳出 保健福祉費やほかの会計への繰り出しが大きい

歳出では医療や福祉などに関するお金が全体の約4分の1と最も大きく、ここ数年割合が増えています。また、その次に大きい諸支出金は、特別会計や企業会計の運営を補助するためのお金などを含みます。